

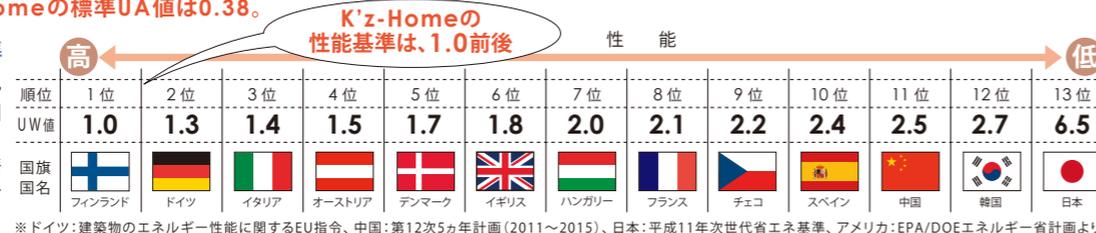
# 新築・改築を お考えの方

温故知新、ヒントは日本の蔵にありました。木の家は木と紙で断熱を  
高気密・高断熱は、自然素材で実現する事に意味があります。  
これからの家づくりに高気密・高断熱は必須条件ですが、だからこそ守りたいのが、  
安全性と耐久性。化学物質、特に石油由来の断熱材、調湿出来ない気密シートなどは、  
壁内結露やシックハウスの原因になるとも言われています。

- ①木質繊維板180kg+セルロースファイバー55kg以上で、UA値0.4以下を標準仕様としています。共に木から出来ている「木質繊維板」と「セルロースファイバー」も透湿性があり、壁内結露を防ぎ、遮音性能も有ります。
- ②大きく熱損失する窓とドアは、ドイツ製フレームとトリプルガラスWLow-eアルゴンガス入りで、平均U値0.8(熱貫流率)。木製玄関ドアのU値0.63～。**K'z-Homeの標準UA値は0.38。**

## 窓に求められる性能基準

窓に求められる性能基準を見てみても、日本の窓は13カ国中最下位。これだけを見ても、世界において「窓の断熱性・気密性」が重要視されているのがよくわかります。



- ③外張り断熱材と気密テープ部材により、シートを使わず、C値0.5以下を達成しています。**K'z-Homeの平均値はC値0.35。**
- ④耐震性能を満たす構造用面材は、合板ではなく<モイス>(パーミュキュライト鉱物由来)を使用。鉄鉱石から生まれた<モイス>は鉱物の為、腐る事も燃える事もありません。耐震性能は、合板を上回る2.7倍(壁倍率)。湿気に強く、防蟻処理の必要もありません。**K'z-Homeの耐震性能基準は耐震等級3+(壁倍率2.0以上)。**
- ⑤完成時にVOC測定を全戸で実施しています(安全を目に見える形で)。高気密を実現すると、室内の空気汚染が問題になり、自然素材にこだわる理由でもあります。K'z-Homeでは、完成時に12時間閉め切ってVOC測定を行っております。**K'z-HomeのVOC目標値は、厚生労働省指針の10%以下(ホルムアルデヒド他5項目)。**
- ⑥全館空調システムをお薦めしています(冷暖房コストは、個別空調より良い結果が出ています)。全館空調システムは、室内温度や空気の一元管理が可能になり、家族の健康を守るアイテムです。24時間換気を一種換気し、空気清浄機を通した新鮮空気を冷暖房して、室内に送ります。**K'z-Homeの全館空調システム利用時年間光熱費3,000円/坪(40坪で12万円)。**
- ⑦構造材は、純国産材の杉と桧を使用(紀州和歌山山長商店生産)。桧の柱は、1本1本全ての強度と含水率を測定し、バランスの取れた建物を実現します。**K'z-Homeが採用する柱は、桧のヤング係数110以上を厳選しています。**
- ⑧100年後も愛される住宅のデザインは、流行に左右されない飽きの来ない普遍性を追求!**K'z-Homeの家は、100年後も古さを感じない伝統的なデザインを目指しています。**

昨年末完成T邸、お施主様のご厚意により、見学可能です。随時ホームページよりお申込み下さい。

- T邸スペック
- ◎UA値0.39
- ◎C値0.28
- ◎サッシ/ヨーロッパ製 平均U値0.8
- ◎玄関ドア/U値0.63
- ◎外張り断熱材/木質繊維板60mm(180kg)
- ◎充填断熱材/セルロースファイバー100mm(70kg)
- ◎全館空調/北米タイプ+第一種換気(HEPAフィルター付空気清浄機併設)



# K'z HOME

街の小さな工務店から百年後も愛される家づくり  
ケースホーム株式会社  
新築・断熱リフォーム・キッチン水回りリフォーム・ガーデニング  
愛知県半田市出口町1-211-19 MTTビル 1F  
TEL.0569-25-0017 FAX.0569-25-0012  
◎K'z HOME オフィシャルページ> www.kz-home.jp ☆ぜひ、ご覧ください!

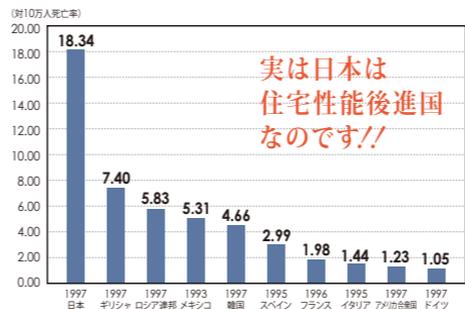
# リフォームを お考えの方

## 命を守る断熱リフォーム

(真冬でも無暖房で15℃以下にならない)

冬の寒さはヒートショックに繋がりがり、夏の暑さも身体に重大な影響を及ぼします。結露によるカビやダニの繁殖も気になります。今お住まいの家が、もしも「夏暑く、冬寒い」家だったら、建て替えるのが一番ですが、「そこまでの費用は、ちょっと」とお悩みの方々にご提案します。

東京ガス都市生活研究所「入浴中急死事例検討」2001年



# リフォームに+断熱を!

広告

夏の暑さは、年々厳しくなっています。その割には、冬の寒さも変わりません。東海地方のような温暖地域でも、真冬には-3℃くらいになりますし、真夏は40℃近くになります。**その差40℃以上!**(人の快適生活温度帯は、18℃~27℃)。つまり、快適な室内温度にするために、冬は外気温を20℃以上も暖め、夏には10℃以上も冷やす必要があるのです。

新築住宅で培った高気密高断熱のノウハウをリフォームに生かせないか?と考えた「断熱リフォーム」は、従来の「ガラスウール断熱材を壁に入れる」ではありません。床、壁、窓、天井はもちろん、気密性、熱橋(ヒートブリッジ)のチェックなど、新築時の断熱性能に求められる計算と技術で行います。

**重要!!** 家の中の「温度差」を無くしてヒートショックを予防する!!

■ヒートショックとは...  
ヒートショックとは、急激な温度差が体に及ぼす影響の事です。急激な温度差によって血圧が上がったり脈拍が早くなったり、心臓に負担がかかる事を言います。



結果は明らか!! エアコンの効きが違います! 電気代が驚くほど違います! 暖房費が大きく減ります!

つまり、僅かな光熱費で快適に暮らすことが可能になり、健康を守ることになるのです。

断熱リフォームには2つのプランをご用意しました。

主な生活空間を限定して断熱する

## パーシャルINプラン

LDK(リビング、ダイニング、キッチン)+浴室、洗面、トイレの水回りを限定の、ご予算500万円から出来る「水回りパーシャルINプラン」。(20帖相当)解体、設備全てをパッケージします。

建物ごとすっぽり断熱する

## オールホールONEプラン

こちらは、30坪1,500万円~。屋根、壁、基礎全てを断熱材で包みます。ご予算と暮らし向きに合わせて、ご対応させていただきます。

8月下旬・半田市内にて断熱リフォーム体感会を予定しています。

そのお宅は築34年、断熱に加え耐震も合わせて行いました。工事中に付き、冷房は有りません。自然の断熱性能を体感してください。

\*日程など、詳しくは弊社HPよりご覧ください。\*